

ボランティアの経験を集大成した教材群!!



教材開発研究代表
原 克彦
(目白大学 教授)

多様化する犯罪から子どもたちを守るには、地域の様々な防犯活動が有効に働くことが経験的に検証され始めています。私たちは、その一端を担おうとボランティア活動に携わる方々の経験や知見を体系的に整理し、子どもの防犯に関するボランティア向けの学習用教材を開発しました。

また、パトロール活動をはじめ、地域や学校との連携や子どもの理解、地域への情報発信など防犯活動に不可欠な6つの活動コースを設定しました。そしてこれらのことを分かりやすく学ぶためのテキストやビデオを準備しました。皆さんの地域の防犯力向上にお役に立てただけであれば幸いです。



防犯ボランティアの方々
と検証しながら開発

教材群ができるまで

収集・分析

座談会



各地ボランティアのノウハウ

アンケート



関係者にさまざまなアンケートを実施

インタビュー



警察の方、ボランティア専門家など

専門家によるワークショップ



活動の抽出

Web検索



行政資料、警察統計

様々な活動項目や知識、知見、データ分析結果など抽出

活動の
基準を整理

基準表

子どもの安全のための防犯リーダーの指導力規準・基準

ver.2010年3月31日

大項目	領域 中項目	コード	規 準	基 準 (具体的な内容)	
				防犯指導リーダー (地域で指導できる)	
防犯に関する施策の理解	11	a	国や自治体の防犯対策や施策・事業についての現状を理解している。	①自治体の「防犯条例」「安心・安全まちづくり条例」などの有無や内容について知っている。	p.62~63 p.15~18
		b	地域の防犯対策や施策・事業についての現状を理解している。	①地域の特性に応じた防犯対策について説明できる。 ②自分の住んでいる地域でどのような防犯活動が行われているか知っている。	p.30~31 p.15~18
地域の特性と防犯対策の理解	12	a	自分の住んでいる地域の特性を把握している。	①住宅街、商店街、学校などのおおよその位置を把握している。 ②地域の人口や世帯数、小学校児童数等を把握している。 ③地域の危険な場所と安全な場所を具体的に把握している。 ④子どもの行動範囲や遊び場を把握している。(放課後預かり施設など)	p.30~31 p.30~31 p.24~25 p.24~25 p.53~58
		b	地域の特性に対する課題や問題を理解している。	①住宅街や商店街などの特性と防犯上の課題について説明できる。	p.12~14
		a	地域の課題や問題の解決に積極的に取り組むことが	①地域の課題や問題の発見のために協力することができる。	p.30~31

基準表をもとに教材群を開発

各種教材ツールの開発



テキストの開発
テキストに準拠したビデオ



用語集(92項目)



Webチェック (Web認定)